

平成 25 年 4 月 1 日

各 位

株式会社 ミライト・テクノロジーズ

大規模災害時における津波避難タワー（退避櫓）建設工事の竣工について

当社グループは、東日本大震災以降、1日も早い復興を願って、東北地方を中心に通信基盤の復旧・復興に努めてまいりました。また、再びいつ発生するか分からない災害への対策に向け、自治体や地元企業と連携して取り組んでまいりました。その一環として、かねてより千葉県旭市において津波発生時の避難タワー（退避櫓：たいひやぐら）の建設を進めてまいりましたが、このたび工事が竣工しました。

本年 3 月 11 日には千葉県・旭市合同で開催された慰霊祭の後、旭市長はじめ多くの市議員が完成した退避櫓を視察されました。

旭市では復興にあたり「災害に強い地域づくり」を大きな柱として掲げ、ハード整備の一つとして高層建築物の無い地域に津波避難タワーの建設を計画されました。当社は同市による公募型プロポーザルにより、退避櫓メーカーである株エム・プランニング（本社：大阪府高槻市、代表取締役：森本 秀樹）との協業で、今回の工事を担当させて頂きました。

今回建設した津波避難用の退避櫓は、鉄骨造地上 3 階建（避難フロア地上 8m）の建造物で、最上階は約 50 m²の避難スペースを確保しており、約 100 名の収容が可能、構造計算上は 400 名の荷重を見込んだ設計となっています。お年寄りや要介護者が車椅子等でも利用できるように建物外周に螺旋状のスロープを備えているほか、櫓（やぐら）内部にある鉄骨階段でも昇降が可能です。スロープ床は水を透過させるグレーチング（鋼材を格子状に組んだ溝蓋で材質は FRP（プラスチックにガラス繊維の層を練り込んだ複合素材））を使用しており、津波襲来時の浮力を軽減させ櫓への影響を最小限にとどめる設計となっています。

【工事概要】

工事場所：千葉県旭市

工事期間：平成 24 年 12 月 26 日～平成 25 年 3 月 25 日

設備概要：鉄骨造地上 3 階建（避難フロア地上 8.0m）

避難スペース（3 階部分）：50.0 m²

収容人数：100 名

床材質：FRP グレーチング

避難経路：スロープまたは鉄骨階段



本件に関するお問い合わせ先

経営管理本部 経営企画室

TEL : 06-6446-3318

FAX : 06-6459-2411

<http://www.tec.mirait.co.jp/>

(ホームページからもお問い合わせ頂けます (最下段))

以 上